

# 『目指せ！ディズニーワールド』

“ディズニーランドのような学年を創ろう！”

ディズニーの世界観こそ学年の目指す世界”

本庄市立児玉中学校 教諭 三宅光起

○はじめに、学年主任として

【私の場合】…総体を崩さず、緻密に、計画的にゴールを見据えた指導や仕掛け（戦略）を持って組織の経営をしていくことがリーダーの責務と考えている。そのためには、明確な目標と手段を広くわかりやすく提示すること。様々な諸課題に対して、予防と早期対応こそが肝要と備えを怠らないこと。「形（言葉）は心を作る。心は形（言動）に表れる。」として、明確な意図と具体的な言葉を準備して、学年主任が自ら直接指導する場面（学年集会や各種行事など）を計画的に設定すること。併せて3年間のグランドデザインを支えるものとして、学年棟（廊下や教室）をHAPPY×HAPPY！な魔法の空間にすることを柱に日々奮闘中である。



○生徒指導面に絞ってまとめてみると

1、明確な目標と手段（手立て）を提示する。つまり、「目的集団」にする。

(1) 目標…描くイメージがしっかりとわかりやすく伝わるようにする。

①どのような世界観かを具体的に伝える。

【私の場合】…ディズニーランドのような学年

②わかりやすく覚えやすく使いやすい言葉。3年間統一感があり一貫している。

【私の場合】…“HAPPY×HAPPY！”を合言葉に、『全力・継続・思いやり』

※人生の行動目標としても通じるようにする。



学年目標	1年生	2年生	3年生
	全力	継続	思いやり
1学期	全力	全力	全力
2学期	継続	継続	継続
3学期	思いやり	思いやり	思いやり



(2) 手立て…生徒には考え方を、職員には指導のポイントを具体的に提示する。

①指導の「キーワード」を設定し、そこから進化・発展していく内容を積み上げていく。

提示の仕方…3年間9学期のスパンで段階的に系統立てて準備し、意図的・計画的に提示する。節目節目、場面場面で、象徴的な言葉を極めてシンプルに提示する。

【私の場合】…3年間で提示していく予定の主なキーワード例



- ・HAPPY×HAPPY！・『全力』『継続』『思いやり』・75%の幸せ
- ・AKB・陰徳積善・自己虫・1cmの思いやり・ハッピーランチ
- ・3分前着席・命の点呼・無言整列・統一ロッカー・先輩の条件
- ・児玉仕草・HAPPYPOINT・「誰か」になる・25秒礼・17分出発
- ・ハッピーダイヤモンド・夢叶え you 神社・心磨きマエストロ賞
- ・リーダーS×メンバーS・HAPPY×2羅針盤・「喜ばれる喜び」・HAPPY絆賞・惻隱の心
- ・心磨きマイスター賞・全力無言清掃・ウエイトレス方式・「継続こそ力なり」・9連覇
- ・ブラックデビルダイヤモンド・絆力・HAPPY貢献・信頼のピラミッド・HAPPY愛語Day
- ・「命を燃やせ」・グッピーの願い・絆跳び・最高の〇・立志の力・「人は雰囲気弱い」論
- ・熱闘：熱くなればなるほど・『継続』とは前進なり・HAPPY花火
- ・PRIDE of NO 放送・キャスト&ゲスト・微笑み返し・清風洗心
- ・次のレベル・BLACKMICKEY・幸せを呼ぶハッピーキャラクター
- ・隠れミッキー・ハピハピの夢…など、※適宜、造語して提示する。



日々の学校生活に関わる様々な指導の根幹に「HAPPY×HAPPY！の精神」を根付かせ、全生徒、各担任が合い言葉として生活できるように、

事前に言葉の種を巻き、ネタとして仕

掛ける。その後は、日々「どう思う？」と問いかけをするだけ。



②目標とコラボレーションした環境（雰囲気）を作る。

【私の場合】…「VisualVision」として、ありふれた事項を印象的な形で提示する。

- ・3年間の進化、成長が一目で理解できるように、9マス目標に合わせた統一感を大切に、段階的に固定化、流動変化させる。板書化する。
- ・学年掲示物（含：水槽等）に工夫を凝らし、学年ならではのこだわりのある掲示物として誇りを持たせ、学年棟をHAPPY×HAPPYな魔法の空間にする。
- ・職員室にもコーナーをつくる。





③キーワードを中心に、「ムーブメント」化する。

【私の場合】…全ての取り組みを総称して“ハッピーハート運動”  
(=全ての人がハッピーになれる、なる活動)とする。



④学年便りを適時発行し、家庭にもその動きを伝え、連携の一助とする。

【私の場合】…学年通信『HAPPY×HAPPY!』で、教師の願い、生徒の想いを広報する。  
生徒の活動スナップをふんだんに使って、規格外の発行に努める。



○終わりに

学年主任の生徒指導面における役割を、「大型客船（学年5学級）の船長＝明確な目的地と針路、そこに行き着くまでの時間や航路、方策を示し、キャストもゲストも安心して旅を満喫できる創造的な空間を作り、全員を無事に目的地まで連れて行くこと」と考えれば、自身の立ち位置がおぼろげながらも見えてくる。私のような気弱で臆病な者が、学年主任の責務を果たすには、“常在戦場”の備えで、事前指導、予防指導を徹底する＝「先の先」の指導と“先手必勝”の構えで、問題発生に即今着手する＝「後の先」の指導を先頭切って行うこと。全ては、最悪を想定して、最高の準備をしておく“予防”指導に尽きると考えている。まだまだ未熟なハッピー客船船長ではあるが、子どもたちの夢ある未来に向かって、大海原をしっかりと航海できるよう、これからも日々精進していきたい。

